



世界に希望を生み出そう

国際ロータリー第 2620 地区 甲府北 ロータリークラブ

2023-2024 年度 2646 回例会 6 月 19 日

地区ガバナー 中村 皇 積 クラブ会長 志村 浩男

本日のプログラム

● 次年度方針発表 (zoom)

● 会長の時間 志村 浩男 会長



皆さん私の年度も今日も含めてあと 2 回の例会を残すのみとなりました。5 月 20 日モスクワ東ロータリークラブとの ZOOM 合同例会以降ロシアウクライナ戦争には大きな動きがありました。

6 月 6 日アメリカ、フランス、ドイツがロシア領内への攻撃をしないことを条件にいままでは武器援助を行っていましたが今後は軍事施設に限って攻撃を許容するとの発表をしました。NATO がウクライナ軍を使ってロシアを攻撃したとの解釈が可能となります。

6 月 15 日スイスで招待国 160 か国の内約 4 割が欠席となる世界平和サミットが開かれました。日本の岸田首相が参加する中でロシアは招待されていません。

先立つ 6 月 14 日プーチン大統領は次のような和平案を発表いたしました。

- ① ウクライナは NATO に加盟しない
- ② ウクライナは核を所有しない
- ③ ロシア語を日常語とするウクライナ東部 4 州からウクライナ軍を撤退させる
- ④ ロシアへの制裁を解除する

以上の 4 条件を前提にするなら交渉に応じる。

以上の流れからもしロシア領への攻撃が開始されればロシア対ウクライナではなくロシア対 NATO との戦争となりロシアが核兵器を使用する可能性がでてきます。2020 年公表した核ドクトリンでロシアが侵略され国家の存立が危機的となった時核を使用すると発表しているからです。

西側はロシアにとって不利となる世界大戦をロシアは決して選択せず西側有利な和平案に依ぜざるを得なくなるだろうと考えているか、ただ戦争を長引かせロシアウクライナ人の人命を犠牲にして軍産複合体企業の利益の長期化を図ろうと考えているとしたら全くの誤算です。

ロシアがウクライナに侵攻した直接の原因はウクライナ東部のロシア語を日常語とするロシアの同胞が西側からの様々な攻撃を受け大規模な虐殺を受けていたのを助けるためでした。

西側の価値観は目先の損得で世界中は動いていて、得を捨て敢えて損を選択する国家の選択はないと信じています。戦争が長引いてもロシアは核を使用せず西側に屈服し妥協すると思込んでいます。ところがプーチンは西側世界を敵に回したとしても同胞を見捨てるロシアではなく同胞を救う誇りあるロシアでありたいと願うかもしれず、核戦争に発展する可能性は否定できません。非常に危険な状態に今世界はあると思います。

両者の価値観の大きな違いを明確にして言語、国籍、政治経済体制を超えて殺し合いではなく平和を求める普通の市民の言葉を世界に発する役目がロータリーにそして原爆犠牲国日本にはあると強く思います。

●2645 回例会 (6/5) ニコニコボックス紹介 ♡大口 ◇トリプル ◎ダブル

加々美よしこ 国歌めちゃくちゃまぢがえました。申し訳ありません。おわびです。
近藤 志村年度もあと少しとなりましたが、来期もよろしく願いいたします。
志村 いよいよラストスパートです。皆様御協力宜しく願い致します。

●2645 回例会 (6/5)

● 第 3 回クラブ協議会



クラブ協議会は、クラブのプログラムと活動もしくは会員教育について協議するために開かれる、クラブ役員、理事、委員会委員長を含むクラブ会員全員の会合である。

すべてのクラブ会員は、協議会に出席することが強く奨励されています。クラブ会長、もしくは指定された他の役員が、クラブ協議会の議長を務める。

クラブ協議会は、すべてのクラブ会員にとって以下のような機会となる：

- 例会と活動を振り返り、話し合う
- プロジェクトと活動に関するアイデアを出し合う（ブレインストーミング）
- クラブの強み、機会、弱みを評価する
- 目標と行動計画を立てる
- 委員会活動の調整を図る
- ロータリーについての知識を学ぶ

事前に会員の意見を求めることで、協議会で会員の関心や懸念を取り上げることができる。

協議会は一年を通じていつでも開催でき、以下に示すようなトピックを扱うことができる。

開 催 時 期

目 的

開 催 時 期	目 的
①地区研修・協議会の直後 (7月1日より前)	地区研修・協議会で話し合った活動計画をクラブに提示 (会長エレクトが議長を務める)
②7月1日の後	年度目標の話し合い
③ガバナー訪問の2週間前	ガバナー訪問準備
④ガバナー訪問中	クラブの活動状況についてガバナーとの話し合い
⑤年度半ば(1月または2月)	目標に向けた進展と会員の全体的な満足度の確認と年度後半の 活動計画(必要な変更を含む)を決定
⑥4月または5月	その他の重要案件の話し合い